役員改選など26件を採決

新議長に時田(義)、副議長に芝田両氏きまる

本年最後の定例市議会終る

昭和三十六年最後の市議会は十一月二十九日より十二月九日まで十一日間にわたり開かれました。

この議会で決つた主なことは、市税条例の改正、三十六年度の追加予算、三十五年度の決算の認定等で件数は二十六件でした。

また最終回の十二月九日には議会役員の改選が行われ、新議長に時田義次氏、副議長に芝田幸太郎氏が当選されました。この日は常任委員や特別委員の改選もあり、別項の通り決定いたしました。

芝田副議長

昭和三十六年の市議会は通常の議決機関としての仕事の外に、国鉄新幹線対策、富士駅総合改修問題、田子浦港の築港等重要事業についての諸会合が多く、建設期の富士市にふさわしい多忙な一年でありました。

この間、市民各位から市議会によせられた御協力につきましては心から御礼申し上げます。

本年特に忘れられないのは、同志伊藤千代吉氏の他界であります運命とは申せ残念でなりません。

今年は議員としての任期も最後の年になりますので一同健康に十分留意して、市民の選良として恥じないよう一生懸命で頑張りたいと存じております。

なお、議会で決つたことを知りたいとか、陳情をしたいとか、何事によらず議会事務局に御申付け下さるようお願いいたします。

富士市議会常任、特別、委員会委員名簿

昭和三十六年十二月十六日現在

◎委員長　○副委員長

議長	時田義次
副議長	芝田幸太郎

総務委員会（定数八人）	◎西尾栄作　長谷川盛男　○鈴木堯　服部国太郎　羽切松雄　佐野晴雄　田辺正美
建設委員会（定数八人）	◎渡辺春恵　遠藤実　○井出徳太郎　飯塚彦作　志村幸三　渡辺作蔵　遠藤隆一　漆畑五六
厚生委員会（定数七人）	◎外山義一　西尾盛次郎　○森山雅一　佐野喜郎　時田義次　藪谷儀重郎
経済委員会（定数七人）	◎鈴木弁蔵　時田恵造　○常盤鉄三　斉藤健治　大芝光男　大村瑛一郎　芝田幸太郎
国鉄新幹線対策特別委員会（定数十二人）	◎服部国太郎　西尾栄作　○藪谷儀重郎　渡辺春恵　志村幸三　外山義一　飯塚彦作　漆畑五六
富士駅総合改修特別委員会（定数十二人）	◎漆畑五六　田辺正美　○時田恵造　常盤鉄三　森山雅一　遠藤実　鈴木弁蔵　渡辺作蔵　羽切松雄　大芝光男
田子浦地区開発特別委員会（定数十人）	◎飯塚彦作　外山義一　○斉藤健治　時田恵造　藪谷儀重郎　鈴木弁蔵　長谷川盛男
広域都市建設調査特別委員会（定数十二人）	◎羽切松雄　服部国太郎　○長谷川盛男　外山義一　西尾栄作　時田恵造　鈴木弁蔵　漆畑五六
議会運営委員会（定数九人）	◎佐野喜郎　井出徳太郎　○志村幸三　服部国太郎　森山雅一　西尾盛次郎　佐野晴雄

年始の市役所執務のお知らせ

例年のように市役所は、十二月二十八日で「ご用納め」となり、新年は一月四日が「ご用始め」になります。この間は一般事務は休みになりますがその他急をようする埋火葬事務だけは宿日直者が取扱いますのでお知らせします。

「富士音頭」の発表会

1月18日富士中体育館で

富士商工会議所はさきごろ「富士音頭」をサトウハチロー作詞、服部正の作曲で依頼していましたが、このほど出来上りいよいよ一月十八日午後一時から富士中体育館で市内小中学校生徒をはじめ婦人会、芸妓などの応援を求め盛大に「富士音頭」の発表会を開くことになりました。

とくにこの発表会には優良店員の表彰式もかねビクターの歌姫鈴木三重子と岩井真吾が来演、それぞれ「富士音頭」と「若い富士」を唄います。

「富士音頭」と「若い富士」の歌詞はつぎのとおりです。

〃富士音頭〃

作詞　サトウハチロー
作曲　服部　正

(1)
雪の冠り頭にのせて
空に気高く立つ姿
ソラキタキタショ
山は富士 山たたえてほめて
おどる踊るか富士音頭

(2)
見ニキナ早ヨキナヤツテキナ
唄が聞こえる　茶摘みの唄が
かわいあの子もあの中に
ソラキタキタショ
昼の休みにや　お山を仰ぎ
同じ想いでいるかしら
見ニキナ早ヨキナヤツテキナ

(3)
船が着く着く田子浦港
船で手を振る人の影
ソラキタキタショ
思い一つか　そびえる山に
誰も彼もの目が光る
見ニキナ早ヨキナヤツテキナ

(4)
東西南北　けむりがのぼる
日にち毎日　たくましく
ソラキタキタショ
産業発達　月日と共に
栄えますぞえ　この町は
見ニキナ早ヨキナヤツテキナ

(5)
うらやましいぞえ駿河の海は
富士のお山の手鏡か
ソラキタキタショ
さす手引く手の身ぶりも悪えて
唄いましょうか富士音頭
見ニキナ早ヨキナヤツテキナ

〃富士は若い〃

作詞　サトウハチロー
作曲　服部　正

(1)
やさしく静かにうつくしく
われらを見守る富士ノ峰
母に抱かれて仰ぎみた
昔と変らぬその姿
ああ永久に心の支え
若い富士　若い富士
富士と生き富士を唄い
富士をたたえん
君もわれもわれも君も

財政事情の公表

（その二）

十二月一日発行の本紙に昭和三十五年度決算の見込状況からみた財政の動向と昭和三十六年度予算の執行状況などの財政事情を公表しましたが、紙面の都合により「財産、公債及び一時借入金の現在高」と「公債目的別現在高」およびこれらの説明が割愛されましたので改めてこの新年号（一月号）に掲載しました。

公債及び一時借入金

公債（市の長期借入金）の現債は五億一千六百八十一万八千円となっていますが大蔵省資金運用部がその内殆どを占め次いで、郵政省簡易保険局及び公営企業金融公庫（上水道事業資金）その他の順になっております。

その割合は資金運用部七十九、五％（三億五千九百四十二万円）簡易保険局二十一、二％（一億九百五十八万七千円、ついで公営企業金融公庫九％（四千六百一十六万九千円）その他〇、三％（百五十四万二千円）となっています

公債を目的別についてみると次の通りであり市民一人当り負担額は一万八百三円、又一世帯当りでは五万四千五十五円となります。

尚、一時借入金の借入額は全然ありません。

公債目的別現在高調

（昭和36年9月30日現在）

区分		昭和36年3月31日現在(A)	自 昭和36年4月1日 至 昭和36年9月30日 借入額(B)	償還額(C)	(A)+(B)−(C) 差引現在高
一般会計	1 教育債	49,474千円	6,000千円	1705千円	53,769千円
	2 保健衛生債	1,135	9,000	126	10,009
	3 普通土木債	53,287	40,000	894	92,393
	4 農業土木債	359	—	31	328
	5 社会及び労働施設費	10,476	3.000	224	13,252
	6 災害復旧費	509	—	42	467
	7 その他	641	—	16	625
	8 転貸債	39.957	10,000	631	49,326
	計	155.838	68.000	3,669	220,169
特別会計	1 上水道事業債	213,236	—	3,491	209,745
	2 病院事業債	85,869	—	847	85,022
	3 と畜場事業債	2,029	—	141	1,882
	計	301,128	—	4,479	296,649
合計		456,966	68,000	8,148	516,818

火の用心　出さぬ用心　消す用心

あとがき

以上が昭和三十六年四月より九月迄の財政の概況であります。市行政その他各般の事務処理のため財政需要は年と共に累増の一途を辿る情勢にあり、今後の市政運営は相当の困難が予想せられますが解決には地方自治の本旨に則り団体の自主財源を確立して行くことが必要であり地方財政制度につきましても、まだまだ改善が望まれるのでありますが、極力冗費の節約、効果的な事業の進捗をはかり予算の編成から執行を通じまして効率的運用に努める一方、収入財源の確保に努力いたしまして懸案の諸施策の早期実現をはかり市民の皆さのご期待に副うべく努力したいと存じます。

市民の皆さんにおかれましても充分市財政の実態を把握されて明るい住みよい富士市建設のため、積極的なご批判とご協力をお願い致す次第であります。

財産公債及び一時借入金の現在高

財産　昭和36年4月1日より9月30日迄の財産の増減及びその概要は下表の通りであります

区分	昭.36.4.1 現在	財産異動状況 増	減	.36.9.30 現在	備考
現金及び有価証券	円 5,741,519	円 1,613,285	—	円 7,354804	増（大昭和製紙株式その他）
土地	m² 472,675	m² 43,665	—	m² 516,340	増（南中学校用地、市立公園用地
家屋	m² 53,912	m² 301	m² 55	m² 54,158	増（田子浦中学校教室、岩松小）
植林	m² 7,437	—	—	m² 7,437	
機械器具（車輌）	24台	3台	2台	25台	三輪車以上

謹賀新年

富士市議会（議席順）

議長　時田義次
副議長　芝田幸太郎
議員　志村幸三
議員　森山雅一
議員　羽切松雄
議員　西尾栄作
議員　渡辺春恵
議員　田辺正美
議員　長谷川盛男
議員　服部国太郎
議員　外山義一
議員　常盤鉄三
議員　遠藤隆一
議員　藪谷儀重郎
議員　大芝光男
議員　飯塚彦作
議員　遠藤実
議員　西尾盛次郎
議員　佐野喜郎
議員　時田恵造
議員　斉藤健治
議員　佐野晴雄
議員　井出徳太郎
議員　鈴木弁蔵
議員　鈴木堯
議員　大村瑛一郎
議員　渡辺作蔵
議員　漆畑五六

事務局長　影山辰男
職員一同